



アドマイア[®] 水和剤

果樹・果菜類の 害虫防除に長く効く！

- 果樹や野菜のアブラムシ類に長期間優れた効果を示します。
- 果菜類のミナミキイロアザミウマに対して確実な効果と残効性があります。
- 果樹（もも、なし、かき）のカメモシ類による果実被害を長期間防止します。



ワタアブラムシ



モモアカアブラムシ



チャノキイロアザミウマ



ミナミキイロアザミウマ



タバコナジラミ



■適用害虫および使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール 当り使用 液量(ℓ)	使用 時期*	本剤の 使用 回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数*			
りんご	アブラムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	1,000~2,000	200~700	3日	2回	散布	2回			
	アブラムシ類 カメムシ類	1,000								
アブラムシ類 モモハモグリガ	1,000~2,000									
なし	アブラムシ類 カメムシ類	1,000		14日				7日	3回	3回
	アブラムシ類 カメムシ類	1,000								
もも	アブラムシ類 モモハモグリガ	1,000~2,000		21日				7日	3回	3回
	アブラムシ類 カメムシ類	1,000								
ネクタリン	アブラムシ類 モモハモグリガ	1,000~2,000		7日				3回	3回	3回
	アブラムシ類 カメムシ類	1,000								
ぶどう	チャノキアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1,000~2,000		7日				3回	3回	3回
	チャノキアザミウマ カキクダアザミウマ	1,000~2,000								
かき	チャノキアザミウマ カキクダアザミウマ	1,000~2,000	7日	3回	3回	3回				
	アブラムシ類	2,000								
うめ すもも	アブラムシ類	2,000	7日	3回	3回	3回				
	クイガアブラムシ	1,000								
くり マンゴー	クイガアブラムシ	1,000	7日	3回	3回	3回				
	チャノキアザミウマ	2,000								
稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	2,000	60~150	7日	2回	3回 (種もみへの処理 または移植時 までの処理は1 回、本田での散 布は2回)	3回 (移植時までの 処理は1回、本 田での散布は 2回)			
	稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ツマグロヨコバイ ウンカ類	100	育苗箱(30× 60×3cm,使 用土壌約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	移植 2日 前~ 移植 当日	育苗箱当り 希釈液0.5ℓ を苗の上か ら灌注する	3回 (移植時までの 処理は1回、本 田での散布は 2回)			
湛水直播 水稲	ツマグロヨコバイ ウンカ類	-	種もみ3ℓ当り 150~200g	1回	は種 前	3回(種もみへ の処理は1 回、本田での 散布は2回)	3回(種もみへ の処理は1 回、本田での 散布は2回)			
	小麦	ヤギシロトビムシ	種子重量 の0.15%	1回	は種 前	3回(種子粉衣は 1回、散布は2回)	3回(種子粉衣は 1回、散布は2回)			
ばれいしょ	アブラムシ類	1,000~3,000	100~300	14日	2回	散布 無人ヘリコ プターに よる散布	3回(植付時 の土壌混和は 1回、植付後 は2回)			
	アブラムシ類	16	3.2	14日	2回	散布 無人ヘリコ プターに よる散布	3回(植付時 の土壌混和は 1回、植付後 は2回)			
きゅうり	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ミナキイロアザミウマ	2,000	100~300	前日	3回	散布	4回(育苗期の株 元散布および定 植時の土壌混和 は合計1回、散 布および常温煙 霧は合計3回)			

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■注意事項

- ネクタリンおよびすももでは品種により、葉に葉害(軽い穴あき症状)を生ずることがありますので注意して下さい。
- かきのカキクダアザミウマについて使用する場合は、巻葉後の散布では効果の劣る場合がありますので注意して下さい。
- 湛水直播水稲に使用する場合は、次の項目を守って下さい。
 - ①本剤を直接もみに処理すると葉害を生ずる恐れがありますので注意して下さい。
 - ②処理する葉量は種もみの量に合わせて調整して下さい。
 - ③過酸化カルシウム剤の3分の1程度をもみに粉衣した後に、過酸化カルシウム剤と本剤を混合したものを種子に湿粉衣して下さい。また、過酸化カルシウム剤の使用上の注意事項を守って下さい。
- 稲(箱育苗)に使用する場合には、軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには葉害を生ずる恐れがありますので注意して下さい。●稲(箱育苗)に使用する場合には、誤って過剰に使用したり、本剤使用後3日以上移植せずに育苗箱におくと、葉枯れなどの葉害を生ずることもありますので、所定の使用量・使用時期・使用方法を厳守して下さい。●稲(箱育苗)に使用する場合には、本田の整地が不均整な場合は葉害を生じやすいので、代かきは丁寧に、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 常温煙霧は専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧して下さい。特に常温煙霧装置の選定および使用に当たっては、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 常温煙霧はできるだけ日中の煙霧を避け、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にして下さい。
- 無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - ミツバチに対して影響がありますので、養蜂が行なわれている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。

(2012年2月現在の登録)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール 当り使用 液量(ℓ)	使用 時期*	本剤の 使用 回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数*
すいか	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	2,000	100~300	3日	3回	散布	4回(定植時の 土壌混和は1 回、散布は3回)
	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ タバココナジラミ類 (ルバーロ・フコジラミを含む)						4回(育苗期の 株元散布およ び定植時の土 壌混和は合計 1回、散布は3回)
メロン	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ タバココナジラミ類 (ルバーロ・フコジラミを含む)	2,000	100~300	3日	3回	散布	2回(定植時の土 壌混和は1回)
にがうり	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	2,000	100~300	前日	2回	散布	3回(育苗期の 株元散布およ び定植時の土 壌混和は合計 1回、散布は2回)
トマト	アブラムシ類 タバココナジラミ類 (ルバーロ・フコジラミを含む) オンシツコナジラミ	2,000	100~300	前日	2回	散布	3回(育苗期の 株元散布およ び定植時の土 壌混和は合計 1回、散布は2回)
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ ミナキイロアザミウマ	2,000	100~300	前日	2回	散布	3回(育苗期の 株元散布およ び定植時の土 壌混和は合計 1回、散 布および常温煙 霧は合計2回)
ピーマン	アブラムシ類 ミナキイロアザミウマ	2,000	100~300	前日	2回	散布	3回(育苗期の 株元散布およ び定植時の土 壌混和は合計 1回、散布は2回)
てんさい	テンサイトビハムシ アブラムシ類	60	ペーパーポット 1冊当り 1ℓ(3ℓ/㎡)	定植時	1回	苗床灌注	1回
茶	チャノキアザミウマ	1,000~2,000	200~400	摘採 7日	1回	散布	2回(植付時の 土壌混和は1 回、散布は1回)
	チャノキアザミウマ チャノホソガ	1,000	200~400	摘採 7日	1回	散布	2回(植付時の 土壌混和は1 回、散布は1回)
たばこ	アブラムシ類	2,000	100~180	10日	1回	散布	2回(植付時の 土壌混和は1 回、散布は1回)

■常温煙霧

適用場所	作物名	適用害虫名	10アール 当り使用 量(g)	10アール 当り使用 液量(ℓ)	使用 時期*	本剤の 使用 回数	使用方法	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数*
温室、ガラス 室、ビニル ハウス等密閉 できる場所	きゅうり	アブラムシ類	100	5	前日	3回	常 温 煙 霧	4回(育苗期の株 元散布および定 植時の土壌混和 は合計1回、散 布および常 温煙霧は合計3回)
	なし		2,000	100	5	前日	2回	3回(育苗期の株 元散布および定 植時の土壌混和 は合計1回、散 布および常 温煙霧は合計2回)
	ぶどう		チャノキアザミウマ	200	9	21日	2回	2回

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

(F-1005 12.02.IS)

バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078 (9:00~12:00、13:00~17:00)
土・日・祝日のぞく